



RULES FOR THE FIS SKI JUMPING CONTINENTAL CUP (MEN)

コンチネンタルカップルール(男子)

EDITION 2025 / 2026



FIS スキージャンプコンチネンタルカップ男子ルール 2025／2026

凡例： COCJ-M=コンチネンタルカップスキージャンプ(男子)

1. 大会地のカレンダー計画、エントリー、指名

1.1 コンチネンタルカップスキージャンプ

各スキー連盟は、決められた期限内にカレンダー計画小委員会へ COCJ-M 大会(個人戦)の申請をする権利を有する。

1.1.2 大会の申請は、大会の 2 年前に公式の FIS エントリー用紙で行なわれなければならぬ。

1.1.3 同日に COCJ-M 大会 1 試合のみを開催することが出来る。

1.1.4 各シーズン最後の COCJ-M 大会が、COCJ-M ファイナルとして行なわれる。COCJ-M ファイナルと関連して、COCJ-M 総合表彰式が行なわれる。

1.2 COCJ-M 大会地の指名

1.2.1 カレンダー計画小委員会は以下を検討する。

- 有効なジャンプ台公認証を有し、COCJ-M 大会として当該ジャンプ台が適しているか。
- 宿泊能力及び競技場の観客アピール度。
- 競技組織の基準。

1.2.2 この評価結果と提案日程により、カレンダー計画小委員会は今後 2 年間の暫定 COCJ-M 大会スケジュールを作成する。現シーズンの最終的な COCJ-M 大会カレンダーは、FIS 理事会の承認が必要である。

2. COCJ-M 大会参加権利

2.1 FIS コード所有選手のみエントリーすることを認める。

各国スキー連盟は、自国選手の COCJ-M 大会出場選手としての適性及び使用ジャンプ台を扱う能力に対し全ての責任を持つ。

2.2 参加が認められる選手

- a) 2010 年又はそれ以前に生まれた選手 及び
- b) 既に WC, GP、COCJ-M ポイントを獲得している選手、又は
- c) 昨シーズン又は現シーズンで最低 1 点でも FIS カップポイントを獲得した選手。

2.3 各国スキー連盟の参加人数

参加人数は、ピリオドごとに以下に従い計算される。

- コンチネンタルランギングリスト (CRL)、2.4 条参照
- 現在の FIS カップ-M ピリオドのスタンディング

計算の基本は以下の通り。

- CRL 上位 50 選手(一か国最大選手 6 名)
- 各 FIS カップ-M ピリオドの上位 3 名
- しかしながら、一か国の最大ネーションクオータは選手 7 名に制限する。
- ネーションクオータが 4 名未満又はゼロの国は、最大 4 名までエントリーする権利を有する。ベーシッククオータの費用払い戻しは 3 人とし、それを越すクオータは各ナショナルスキー連盟が支払わなければならない。
- ホスト国は、ナショナルグループ 6 名 (グループ 1) を追加としてエントリーする権利を有する。
- ホスト国の大スタート人数は 13 名となり、その他の国は最大 7 名までとする。
- 1 国において 2 試合を超える COCJ-M 大会が行なわれる場合、ホスト国はナショナルグループをシリーズごと(サマーCOCJ-M 又はウインターCOCJ-M)最大 2 試合までエントリーする権利を有する。合計で 4 試合以内とする。この制限は、他国からの代替大会には適用されない。

2.4 コンチネンタルランギングリスト (CRL)

クオータ計算は、コンチネンタルカップランギングリストに従い行なわれ、下記基準に沿ってなされる。

- ポイントシステムは、現行の COCJ-M スタンディングと同様とする。
(1 位 100 点、30 位 1 点)
- 前 COCJ-M シーズンの 7 つのピリオド (冬 5 ピリオド、夏 2 ピリオド) の競技結果は、現 COCJ-M シーズンの 7 ピリオドの競技結果により徐々に取って代わっていく。
- この更新手順は、各ピリオド後繰り返される。
- CRL の上位 50 選手がクオータ計算に考慮される。
- ネーションクオータは、続くそのピリオド内で有効であり、現行競技結果に影響されない。

2.5 COCJ-M ピリオド

第 1 ピリオド:	2025.08.23	–	2025.09.20	シュタムス (AUT)
第 2 ピリオド:	2025.09.26	–	2025.10.19	ヒンターザーテン (GER) ~クリゲンタール (GER)
第 3 ピリオド:	2025.12.06	–	2025.12.21	ルカ (FIN)
第 4 ピリオド:	2025.12.27	–	2025.12.28	エンゲルベルク (SUI)
第 5 ピリオド:	2026.01.10	–	2026.01.25	札幌 (JPN) ~インスブルック (AUT)
第 6 ピリオド:	2026.01.31	–	2026.02.15	(NOR) ~ブロターオーテ (GER)
第 7 ピリオド:	2026.03.07	–	2026.03.22	ザコパネ (POL)

3. COCJ-M 評価

3.1 個人戦

1 位 = 100 点	16 位 = 15 点
2 位 = 80 点	17 位 = 14 点
3 位 = 60 点	18 位 = 13 点
4 位 = 50 点	19 位 = 12 点
5 位 = 45 点	20 位 = 11 点
6 位 = 40 点	21 位 = 10 点
7 位 = 36 点	22 位 = 9 点
8 位 = 32 点	23 位 = 8 点
9 位 = 29 点	24 位 = 7 点
10 位 = 26 点	25 位 = 6 点
11 位 = 24 点	26 位 = 5 点
12 位 = 22 点	27 位 = 4 点
13 位 = 20 点	28 位 = 3 点
14 位 = 18 点	29 位 = 2 点
15 位 = 16 点	30 位 = 1 点

3.1.1 同得点者が複数の場合、各選手には、その順位に応じるポイントが与えられる（次の順位は省略される。）

3.1.2 COCJ-M 評価（ポイント対象）の大会とみなされる為には、最低 8 カ国が参加しなければならない。大会 21 日前の予備エントリーは確認のための締切とみなす。

3.1.3 コンチネンタルカップスタンディング

現シーズンの全個人戦での COCJ-M ポイントは、COCJ-M 総合優勝者を決めるにあたり
サマーと冬で分けられ合計される。

COCJ-M スタンディングで複数が同得点であれば、各大会の良い順位がランキングを
決める為に使われる。それでも同順位であれば、スタート順は抽選となる。

3.1.4 COCJ ネーションズカップ

団体戦及び混合チーム戦シェア分のポイントを含め、現シーズンの全 COCJ 大会（男子）における 1 カ国より選手全員のポイントの合計点数が国別の COCJ 評価として考
慮される。

国別得点で同得点がある場合、各々の大会（個人戦及び団体戦）の良い成績が優先す
る。

4. 競技方法及びスタート順

COCJ-M 大会は、ICR452 条（個人戦及び団体戦）に従い、以下の項目も含め実行されな
ければならない。

- 4.1 個人戦において、選手を 3 つのグループに分ける。グループの順番は以下とする。
- グループ 1 開催国
 - グループ 2 (COCJ-M ポイントがない選手)

- グループ 3 (COCJ-M ポイントがある選手)
グループ内のスタート順は以下とする。
 - グループ 1 ドロー又はシード
 - グループ 2 ドロー
 - グループ 3 現在の COCJ-M スタンディングの逆順。COCJ-M スタンディングに入り次第、ランキングに沿ってグループ 3 にシードされる。そのシーズンの最初の大会は、昨シーズンの最終 COCJ-M スタンディングにより決められる。

4. 2 2 本目（最終ラウンド）において、1 本目の上位 30 人のみが 2 本目に進める（プラス最終予選通過順位同点者）。選手は 1 本目と同じゼッケンを着用し、1 本目の獲得得点の逆順でスタートする。
最長不倒の 95% に達し予選通過すべきところ転倒した選手は、上位 30 人に加えて競技に参加する権利がある（ウインド/ゲート補正が使用される場合、補正された距離が基本となる）。

4. 3 2 本目は、1 本目終了後 20 分以内で始めなければならない。時間通りにスタート出来ない選手は、失格となる。

5. COCJ-M 賞

5. 1 COCJ-M 総合優勝者は、サマーと冬で分けられ、コンチネンタルカップトロフィーをもらう。
上位 3 選手に FIS メダルを与える。
上記のトロフィー、メダルは、FIS が用意する。
コンチネンタルカップトロフィー及びメダルは、ファイナル（最終戦）でのみ授与される。

6. COCJ-M 費用の支払い

6. 1 各 COCJ-M オーガナイザーは、下記に従い参加国に以下の費用を負担しなければならない。

- 全てのエントリー選手（ナショナルグループ及びベーシッククオータの追加の 4 人目は除く、及び、1 か国最大 5 選手）
- 一カ国につき役員 2 名

6. 1. 1 宿泊

大会期間中すなわち最初の公式練習の前日から最終競技日の翌日まで、上質のホテルで部屋と 3 食を提供する。招待状及びインフォメーションパックが、組織委員会から各スキー連盟に送られなければならない。参加チームは、表記された期限までに参加選手をエントリーしなければならない。それによりそれが望む部屋数の予約が確実となる。

予約した部屋を使用しなかった場合、組織委員会は、そのスキー連盟に対しキャンセル料金を請求する権利をもつ：

- ・ チームキャプテン会議 (TCM) の 14 日前まで : チーム及び SRS は予備エントリー (preliminary entry) を適応し予約を変更できる。キャンセル (チーム全体又は一部の部屋のみ) は予約した部屋の 25%は無料とする。
- ・ チームキャプテン会議 (TCM) の 13 日前から 8 日前まで : チーム及び SRS は、遅くとも大会 TCM の 8 日前までファイナルエントリーを LOC に提供しなければならない。LOC は 10%の許容をもってキャンセル料金を請求する権利を有する(予約した部屋の 10%はキャンセル料金無料)。
- ・ 大会 7 日前から大会終了 (チームが選択した出発日)までの期間 : LOC はキャンセル料を請求する権利を有する。キャンセル料の金額は、FIS ホームページの各メニューのイベントプログラムで公表される必要がある。

組織委員会又はホテルマネージャーは、チームキャプテンの同意なしに、大会日に部屋を明け渡すことを要求することは認められない。

6.1.2 輸送

組織委員会は宿泊先と競技会場間のシャトルサービス（定期往復便）を提供し継承しなければならない。

6.2 TD、TD アシスタント及び外国人飛行審判への旅費、宿泊費の支払いは、ICR405.4 条に従って支払われなければならない。

7. COCJ-M スポンサー

FIS は、コンチネンタルカップスポンサーのスポンサー権に対して FIS とスポンサー会社／代理店との間で契約を結ぶ事が出来る。

8. COCJ-M コントロール及びレポート

8.1 各 COCJ-M オーガナイザーは、シーズン前に自国のプレス通信社と連絡をとり、大会終了後直ちにそのプレスが、結果表又は最低でも COCJ-M ランキングリストを配信することを、確認しなければならない。

8.2 国際スキージャーナリスト連盟 (AIPS) 及び国際スキー連盟の推奨とガイドラインに従い、プレス・メディアサービスを組織し、実施しなければならない。

8.3 TD は、COCJ-M 大会をコントロール（統制）し、レポートする責任がある。レポートは試合後 5 日以内に公式電子プラットフォームでなされなければならない。

8.4 各 COCJ-M 大会後、COCJ-M コーディネーターは、COCJ 総合評価の新しい順位表を計算する責任があり、競技終了後直ちに、それを次の COCJ-M オーガナイザー及び FIS オフィスに送らなければならない。

8.5 コントロール

FIS は COCJ-M コーディネーターを指名し、同コーディネーターはジャンプ TD ライセンスを所有していなければならない (ICR403.5 条)。

同コーディネーターはジャンプレースディレクターに報告する。

各オーガナイザーは、同コーディネーターの宿泊費、食費、旅費を支払わなければならぬ。

賞金 ~~4,127 3,900 ユーロスイスフラン~~、トップ 8 で分配

1 位	1,000 スイスフラン	<u>1,058 ユーロ</u>
2 位	800 スイスフラン	<u>847 ユーロ</u>
3 位	600 スイスフラン	<u>635 ユーロ</u>
4 位	400 スイスフラン	<u>423 ユーロ</u>
5 位	350 スイスフラン	<u>370 ユーロ</u>
6 位	300 スイスフラン	<u>317 ユーロ</u>
7 位	250 スイスフラン	<u>265 ユーロ</u>
8 位	200 スイスフラン	<u>212 ユーロ</u>

各国スキー連盟は、FIS メンバーセクションの選手登録モジュールを使用し各選手の銀行情報を入力する責任を有する。

2 名以上の選手が同点となった場合の賞金分配

同点の場合は、各選手の賞金を加算し、同順位の選手間でそれぞれ分配する。